

証券化市場の動向調査のとりまとめ

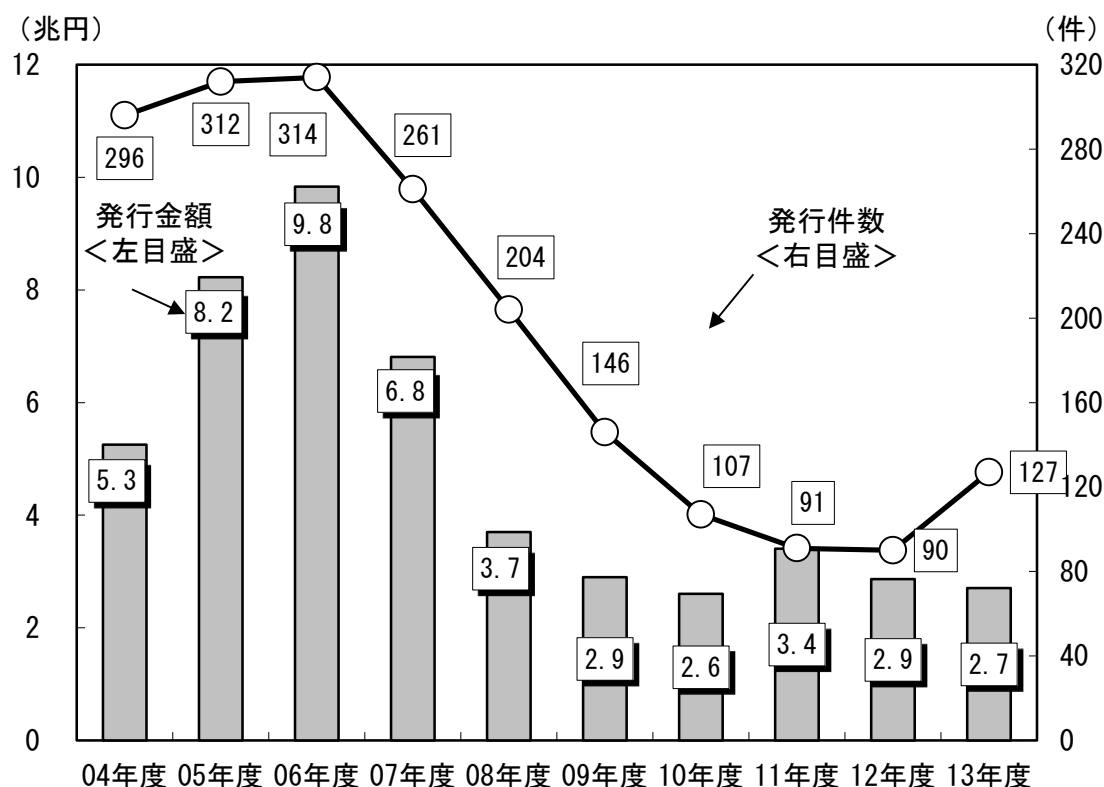
～2013年度の発行動向～

以下は、日本証券業協会及び一般社団法人全国銀行協会が毎月実施している「証券化市場の動向調査」（日本証券業協会ホームページ<<http://www.jsda.or.jp/>>参照）について、2013年度（2013年4月～2014年3月）の結果を取り纏めたものです。図表データについては、別紙をご参照ください。

1. 証券化商品全体の発行動向

2013年度における証券化商品の発行動向をみると、金額は前年度を下回った（金額2兆7,081億円<前年度比▲5%）。一方、件数は前年度を上回った（件数127件<同+41%）（図表1）。

（図表1）証券化商品の発行金額・件数



（参考）普通社債の発行金額

（単位：兆円<2013年度分は暫定数値>）

2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
5.9	6.9	6.8	9.4	9.6	10.3	9.9	8.3	8.2	8.1

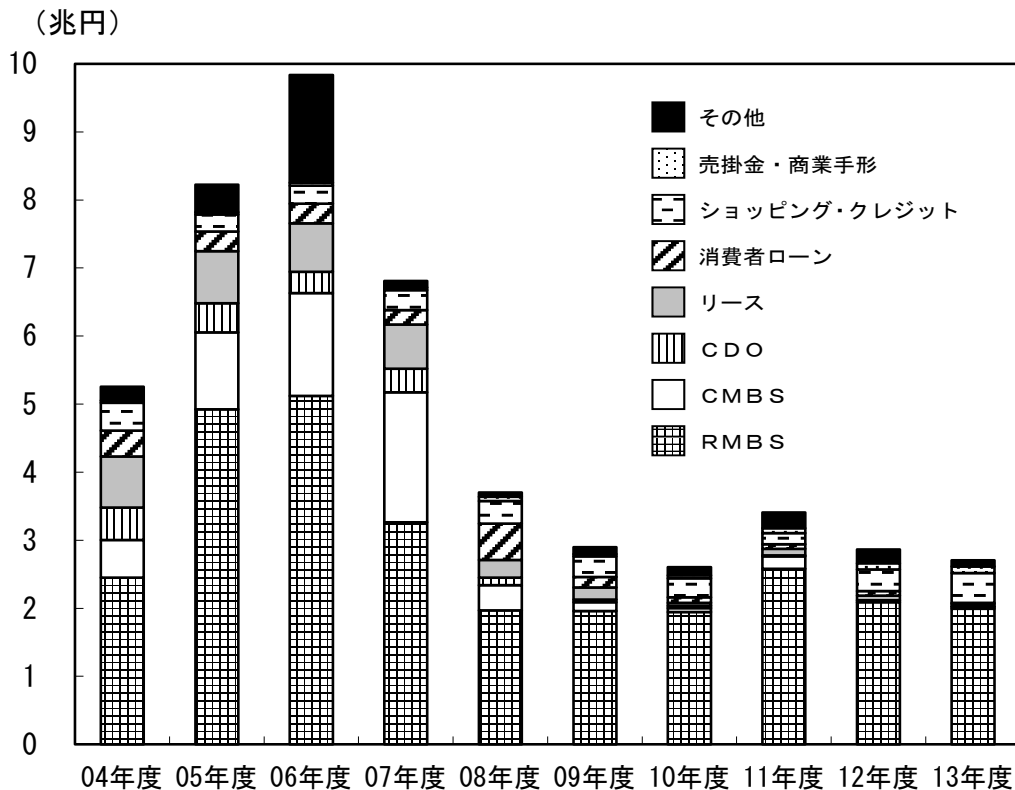
2. 裏付資産別の発行動向

2013年度における証券化商品の発行金額を「裏付資産」別にみると、「CDO」が6年ぶりに増加した。さらに、「売掛金・商業手形」が4年連続、「ショッピング・クレジット」が2年連続で増加した。一方、「RMBS」、「CMBS」、「リース」、「消費者ローン」及び「その他」は減少した（図表2）。

（図表2）証券化商品の「裏付資産」別発行金額

	RMBS	CMBS	CDO	リース	消費者ローン	ショッピング・クレジット	売掛金・商業手形	その他	合計
発行金額(億円)	19,955	276	35	386	180	4,371	931	948	27,081
前年度比(億円)	▲934	▲17	35	▲313	▲470	1,185	34	▲1,079	▲1,559
前年度比(%)	▲4	▲6	- (※)	▲45	▲72	+37	+4	▲53	▲5
構成比(%)	74	1	0	1	1	16	3	4	100
(参考)発行件数	40	3	3	2	2	34	37	6	127

※「CDO」の前年度比(%)については、前年度の発行がないため、「—」としている。



(参考) 裏付資産の具体的な分類は、以下のとおり。

「RMBS (Residential Mortgage Backed Securities)」

：住宅ローン債権、アパートローン債権

「CMBS (Commercial Mortgage Backed Securities)」

：商業用不動産担保ローン債権、商業用不動産

「CDO (Collateralized Debt Obligations)」

：企業向け貸付債権、社債、CDS等

「リース」：リース料債権

「消費者ローン」：消費者ローン債権、カードローン債権

「ショッピング・クレジット」：ショッピング・クレジット債権、オートローン債権

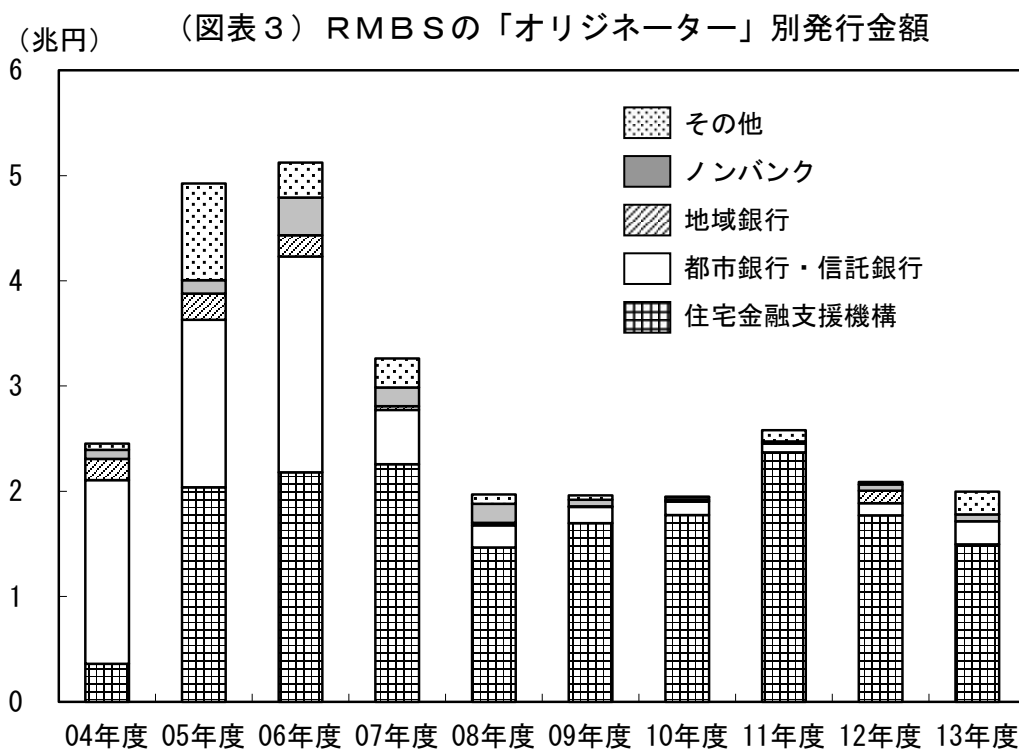
「売掛金・商業手形」：売掛債権、手形債権

「その他」：基金債権、事業キャッシュフロー、診療報酬債権等

RMBSの発行動向

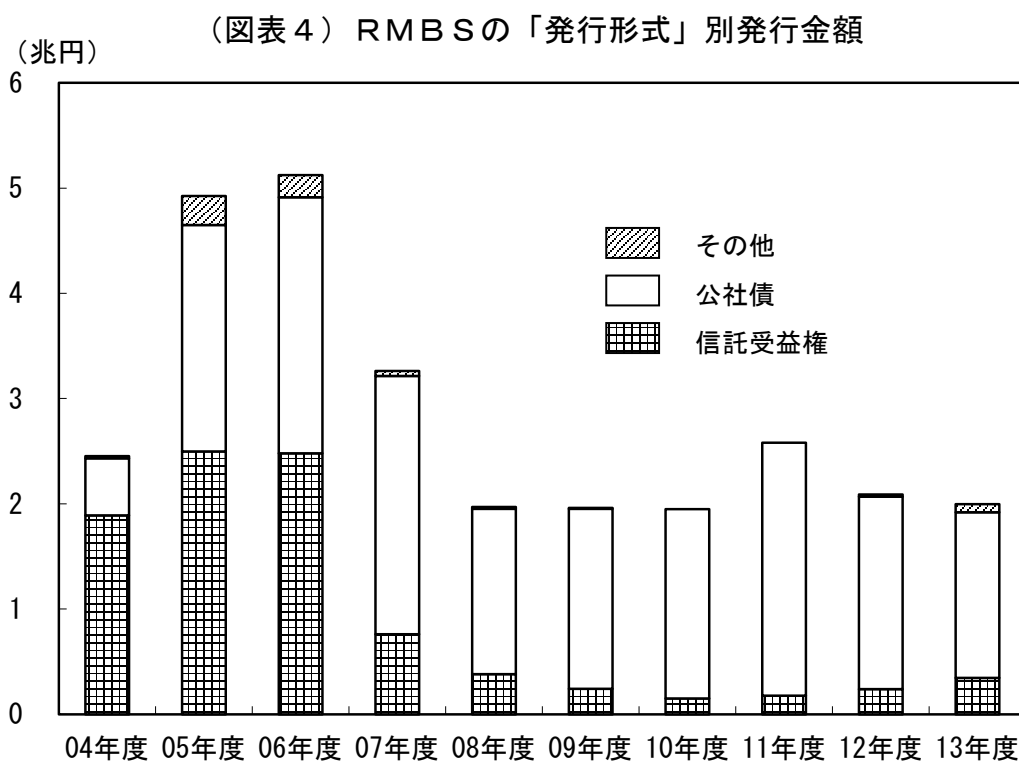
① オリジネーター別

RMBSの発行金額（1兆9,955億円）を「オリジネーター」別にみると、「住宅金融支援機構」が75%（1兆4,941億円）を占めた（図表3）。



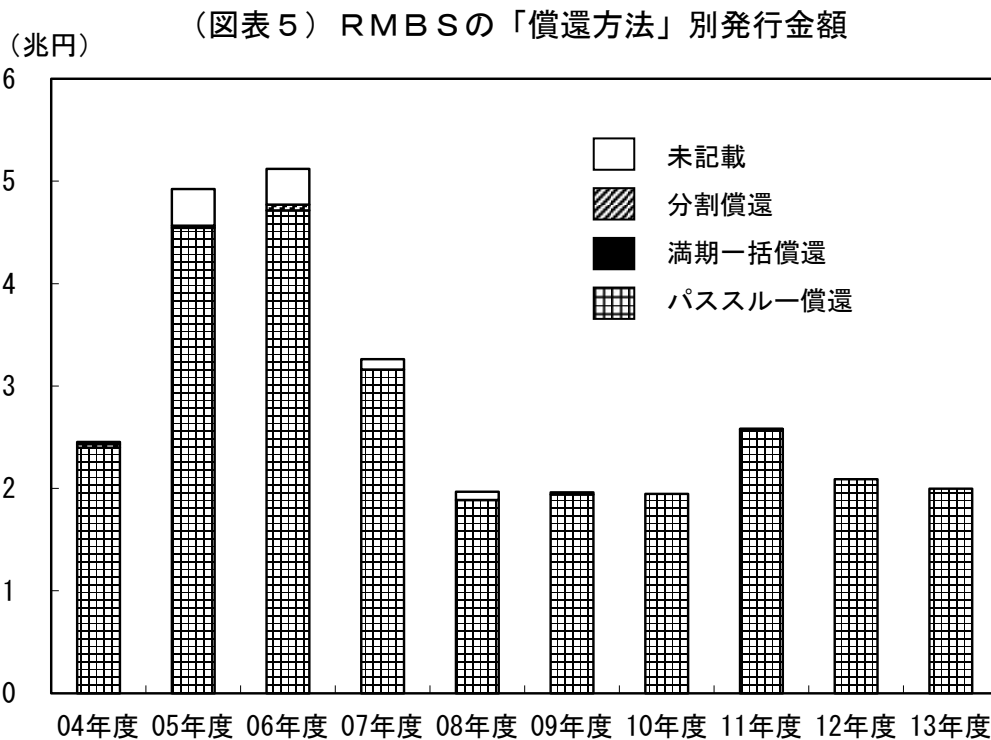
② 発行形式別

RMBSの発行金額（1兆9,955億円）を「発行形式」別にみると、「公社債」が79%（1兆5,726億円）を占めた（図表4）。



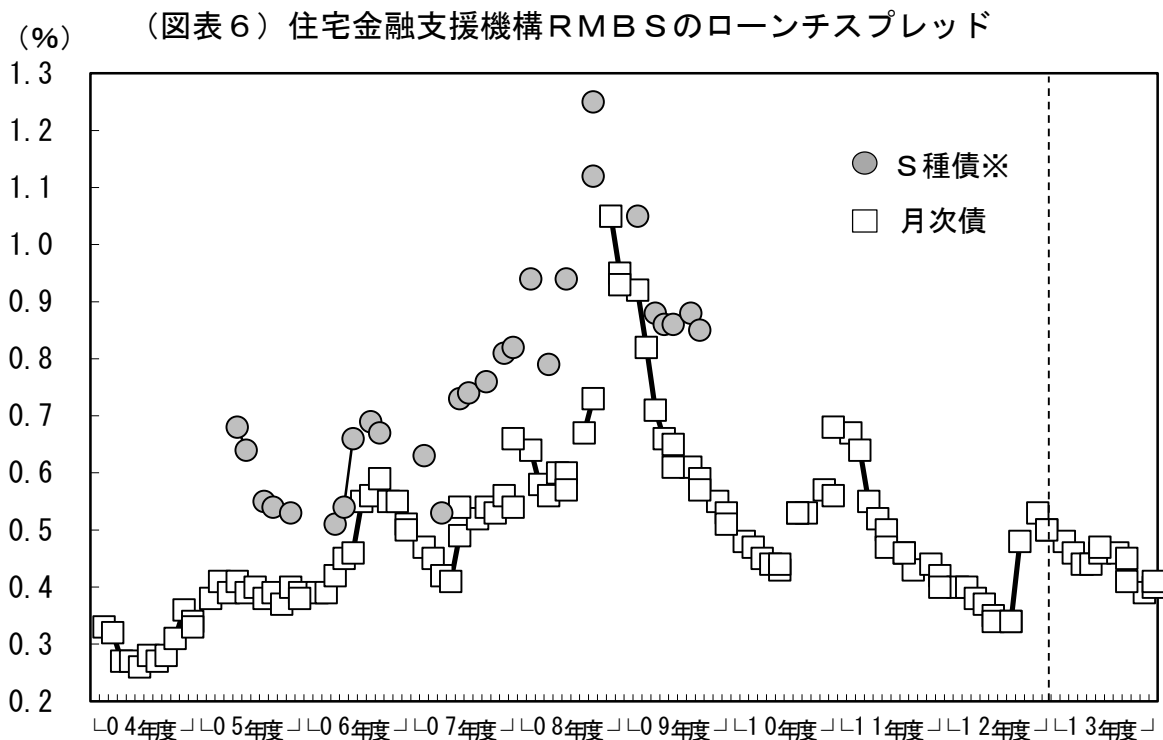
③ 償還方法別

RMBSの発行金額（1兆9,955億円）を「償還方法」別にみると、すべてが「パススルー償還」であった（図表5）。



④ 発行時のスプレッド

住宅金融支援機構RMBS（月次債）のローンチスプレッド（表面利率と条件決定時の国債利回りとの差）は、2013年8月まで縮小し、9月に拡大した後、2014年2月まで縮小傾向を辿り、3月発行分では再び拡大した。（図表6）。

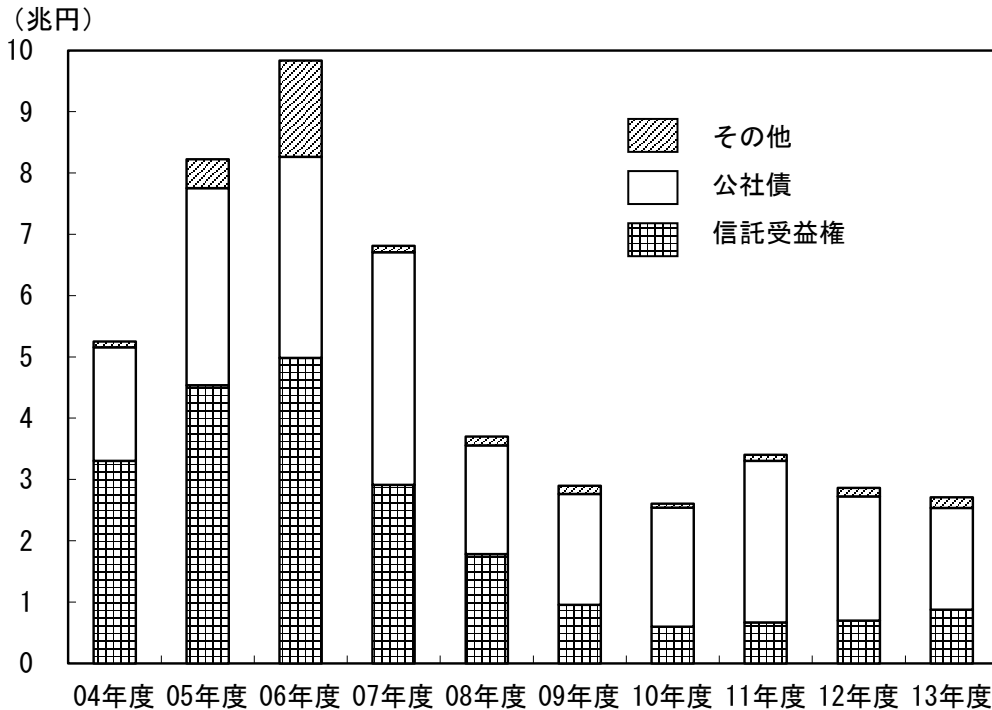


※ S種債（旧住宅金融公庫が過去に直接実行した住宅ローンを証券化したもの。）は2009年12月を最後に、発行されていない。

3. 発行形式別の発行動向

2013年度における証券化商品の発行金額（2兆7,081億円）を「発行形式」別にみると、「公社債」が61%（1兆6,626億円）を占め、次いで「信託受益権」が32%（8,761億円）を占めた（図表7）。

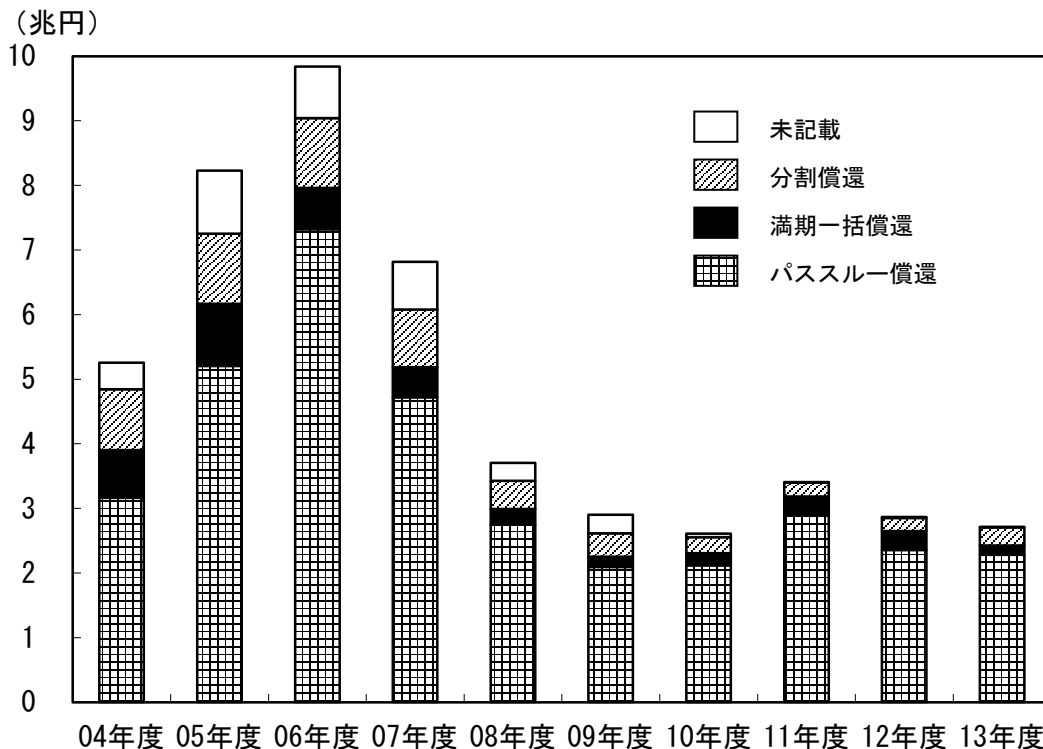
（図表7）証券化商品の「発行形式」別発行金額



4. 償還方法別の発行動向

2013年度における証券化商品の発行金額（2兆7,081億円）を「償還方法」別にみると、「パススルー償還」が84%（2兆2,813億円）を占めた（図表8）。

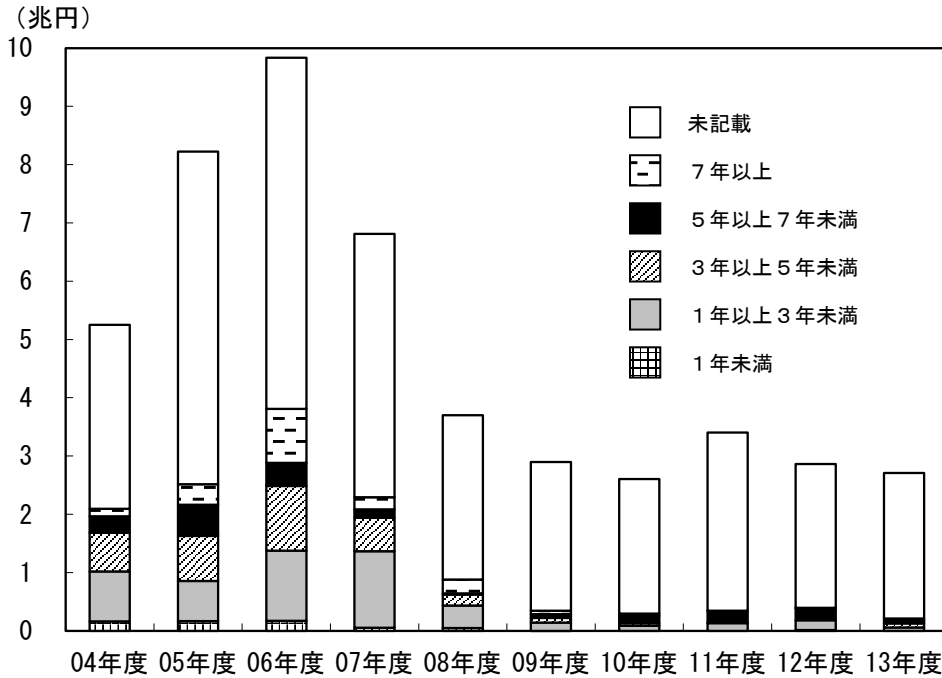
（図表8）証券化商品の「償還方法」別発行金額



5. 予定／平均年限別の発行動向

2013年度における証券化商品の発行金額（2兆7,081億円）を「予定／平均年限」別にみると、「未記載」が92%（2兆4,970億円）を占めたが、記載のある中では、「3年以上5年未満」が3%（700億円）を占め、次いで「1年以上3年未満」が2%（585億円）を占めた（図表9）。

（図表9）証券化商品の「予定／平均年限」別発行



6. 格付別の発行動向

2013年度における証券化商品の発行金額（2兆7,081億円）を「格付」別にみると、「AAA」が90%（2兆4,263億円）を占めた（図表10）。

（図表10）証券化商品の「格付」別発行金額

